

事業実績書

1 地域づくりの活動方針(テーマ)

陶連合自治会が地域づくり活動を開始して9年が経過し地域づ暮に対する住民の意識も次第に高まってきている。第2次地域づくり計画にもとづき「美しい心ふれあう陶」のキャッチフレーズのもと地域の実態の再把握も行いながら地域づくり活動に取り組んでいく。

(1) 活動を継続しつつ、変革へ

- ・地域の実態を多面的に把握し、問題解決に課題の解決に役立つよう、目的・内容・方法などの見直しを進める。
- ・地域の課題把握→計画→実行→評価というプロセスを重視して事業を進め、地域力を高める。
- ・他地域との交流を踏まえ、新たな事業や見直しも視野に入れ若者の視点を取り込み地域づくりの変革を進める。

(2) 「みんなで作る住んで誇りに思う陶」の実現に向け多くの住民が集えるように“楽しむ” “出番づくり” “ふれあう” ことの大切さを体感して貰える“場所”づくりを心掛ける。

(3) 陶地区の高齢化率は30%を超え今後さらに高まり、中長期的な視点に立ち、第2次地域づくり計画の仕上げの年であり、第3次地域づくり計画を踏まえながら少子高齢化対策、若者定住化対策に取り組む。

2 今年度、重点的に取り組んだ視点(事業)

①	視点	人材の発掘と育成によるまちづくり	
	事業名	人材発掘、人材育成	決算額 42,760 円
②	視点	多世代でふれあいまちづくり	
	事業名	三世代交流の推進	決算額 65,447 円
③	視点	うつくしい安全なまちづくり	
	事業名	各種マナーアップ及び交通マナーアップの推進	決算額 73,535 円
④	視点	うつくしい安全なまちづくり	
	事業名	陶クリーン作戦	決算額 225,857 円
⑤	視点	ふるさとの歴史を学びまちづくり	
	事業名	文化財保護活動	決算額 2,885 円

3 今年度の重点的視点(事業)に対する評価

検証(成果、来年度以降への改善点等)	自己評価
① 活発な活動で地域づくりに協力が得られました。若者の意見や要望を反映できる組織づくり、体制づくりが急がれます。	◎
② 小学校、PTA、子供会、老人クラブなど世代間の交流ができました。今後も参観日と併用して開催します。	◎
③ 広報誌での啓発に努め少しずつ住民の中で浸透しつつあります。	◎
④ 小・中学生から高齢者まで、全集落、地区内23団体が参加して地区内の国道、県道周辺や通学路の環境美化活動を実施しました。また中央公園の清掃、除草も実施しました。	◎
⑤ 陶窯跡周辺の清掃、整備を行いました。次年度も継続して周辺環境整備を続けて行きます。	○

◎(大変よくできた) ○(概ねできた) △(課題が残った) ×(全く出来なかった)

4 総括

- (1) 地域づくりは「自分の暮らしを豊かにする」という意識の啓発と、住民の参加を促す工夫、意識を高める取り組みを重点的に行い、「楽しい場の設定」「出番づくり」を推進し、「自からが参加する」取組を共有することができました。
- (2) 「陶ふれあいまつり」を「ふれあいづくり」「出番づくり」「安心づくり」を具現する場と位置づけ活動した結果、住民の参加も増えまつりを盛り上げることができました。

5 事業内容

(1) 協議会運営

事業費	4,402,009 円
事務局の運営体制	(事務員等の雇用人数) 事務局長:1名 事務員:2名 (運営費の主な内容) 事務局人件費、事務用品 (成果・評価) 年間を通じて滞りなく事務局運営を行うことが出来ました。 (今後に向けて) より円滑な事務局運営を行うために、事務改善に努めます。

(2) 地域振興

事業名	人材発掘、人材育成
事業費	42,760 円
事業概要	(実施内容) 陶づくりセミナー グループ討議 (実施時期) ①29年9月 ②29年10月 (参加人数) ①17人 ②10人 (成果) 若者同士の仲間づくりができました。 (評価) 地域づくりに、若者の参加により陶の魅力の再発見を促す。 (今後に向けて) 今年度は2回開催できました。次年度も引き続きセミナーを計画します。

事業名	広報活動の推進
事業費	737,340 円
事業概要	(実施内容) ①広報誌「まるごと陶」を毎月発行し、各戸に配布しました。 ②ケーブルTV「Ybook」に「まるごと陶」継続掲載。 ③フェイスブック「まるごと陶」にリアルタイムに情報発信を継続 (実施時期) ①、②、③共に平成29年4月から平成30年3月まで (参加人数) ①120人 (成果) ①地区内の各戸への配布ほか、地区外にも発送しました。 (評価) ①地区内情報が広報誌に纏められており、地区民に喜ばれている。 (今後に向けて) ①地域の情報源として読み易く親しみある内容に努めます。

事業名	ふれあい行事の開催
事業費	385,500 円
事業概要	(実施内容) 実行委員会を結成し、①「地区民運動会」②「陶ふれあいまつり」を大々的に開催しました。 (実施時期) ①平成29年4月 ②平成29年11月 (参加人数) ①約700人 ②約1000人 (成果) ①②地区内の各種団体による実行委員会方式での開催のため、地区民が多く集い地区最大の行事が実現できました。②自主防災会、文教部会との合同イベント(炊き出し訓練、ミュージック陶来楽夢)も出来ました。 (評価) ①②地区民多数の参加があり、ふれあいづくりは十分に図られました。 (今後に向けて) ふれあいまつりの内容を一層充実させて、ふれあい推進活動を高めます。

事業名	活動グループの育成
事業費	81,408 円
事業概要	<p>(実施内容) 地区民を中心に活動グループ(①ふれあい農園クラブ、②陶助人隊、③写友陶)を支援、育成しました。</p> <p>(実施時期) ①②③通年</p> <p>(参加人数) ①会員18人 ②隊員21人 ③会員9人</p> <p>(成果) ①②③ともに活動を通じて、ふれあいを深めることが出来ました。</p> <p>(評価) ①菊や野菜づくりを習得し、次への意欲に繋げることが各種の地域貢献活動に取り組みました。</p> <p>②地区内の評判が少しずつ高まり奉仕の場を広げています。</p> <p>③地区の四季を写し取り、広報誌掲載、発表会に生かされています。</p> <p>(今後に向けて) ①グループの親睦を一層深めながら、地域づくり活動にも積極的に参加します。</p> <p>②隊員を増員し、地区団体の要望に応えられるよう組織を充実させます。</p> <p>③趣味を生かして親睦を深め、広報誌への写真提供、地域再発見を期待します。</p>

(3) 地域福祉

事業名	地域福祉講座の開催
事業費	11,017 円
事業概要	<p>(実施内容) 「今考えておきたい”想い”を伝えるエンディングプラン」について講座を開催しました。</p> <p>(実施時期) 平成29年9月</p> <p>(参加人数) 54人</p> <p>(成果) 高齢化社会を迎え元気なうちに”終活”をはじめようという高齢者には参考になる講義であった。</p> <p>(評価) 「エンディングノート」の存在と、次代に繋ぐ”終活”の必要性の講義は新鮮でした。</p> <p>(今後に向けて) 高齢者が気楽に参加できる講座を引き続き検討します。</p>

事業名	子育て支援の推進
事業費	90,000円
事業概要	<p>(実施内容) ①放課後の学童保育と②未就園児子育ての両グループを支援しました。</p> <p>(実施時期) ①平成29年4月～平成30年3月 ②平成29年4月～平成30年3月</p> <p>(参加人数) ①対象学童延べ61人、②対象親子延べ122人</p> <p>(成果) ①20回、児童を保育しました。②12回の活動を実施しました。</p> <p>(評価) ①活動は充実しているが少子化で参加人数が減っています。</p> <p>(今後に向けて) ①運営内容を検討し、利用増加を図ります。②今後も支援を継続します。</p>

事業名	三世代交流の推進
事業費	65,447 円
事業概要	<p>(実施内容) 複数の団体と協力して交流イベント①陶小ふれあい広場②3世代餅つき体験を開催しました</p> <p>(実施時期) 平成29年6月、平成30年1月</p> <p>(参加人数) ①223人、②93人</p> <p>(成果) 小学校、PTA、子ども会、老人クラブ間の交流が深まりました。</p> <p>(評価) 参観日に併せたり参加しやすい方法で、幅広い世代の参加者がありました。</p> <p>(今後に向けて) ①今後も参観日に併せて実施します。②天候に左右されない内容で実施します。</p>

事業名	高齢者の生きがいづくり
年齢層	56, 490 円
事業概要	(実施内容) 陶老人クラブ連合会に協賛して、西京大学(学習会)を開催しました。 (実施時期) 平成29年8月 (参加人数) 78人 (成果) 講座で健康についての注意点を学ぶことができました。 (評価) 共同開催により、参加者が定着しました。 (今後に向けて) 今後も、老人クラブと共同開催を継続します。

事業名	ふるさとウォーキング
事業費	44, 352 円
事業概要	(実施内容) 陶地区内をウォーキングすることにより、ふるさとを再発見し体力づくりを目指しました。 (実施時期) 平成29年11月 (参加人数) 60人 (成果) ウォーキングを通じて地区民のつながりが深まり、ふるさと再発見にも寄与しました。 (評価) 幅広い年齢層の参加で健康増進、地区民のふれあいに役立ちました。 (今後に向けて) 毎年コース等を変え、地区内を一巡します。

事業名	高齢者支援
事業費	112, 437 円
事業概要	(実施内容) 地区内団体との共催で敬老行事等を開催、支援しました。また指導者講習に参加しました。 (実施時期) 平成29年7月、10月、11月 (参加人数) 200人 (成果) 同様行事を共催したことで経費面、準備等の軽減が図られた。 (評価) おおむね好評でした。 (今後に向けて) 高齢化が進行する中、各々分散して行わず共催が重要です。

(4)安心・安全

事業名	自主防災活動の推進
事業費	67, 856 円
事業概要	(実施内容) ①「陶ふれあいまつり」時に、焚きだし訓練と防災アンケートを行いました。 ②自主防災委員の集合訓練を行いました。 ③各集落自治会館に「海拔表示板」を設置しました。 (実施時期) ①平成29年11月 ②平成29年9月 ③平成30年1月 (参加人数) ①炊き出し訓練500人 ②15人 (成果) ①500食の豚汁を、地区民外多くの人に試食して貰いました。 (評価) 炊き出しは、ふれあいまつり時に開催したので、大勢の地区民に防災意識が高まりました。 (今後に向けて) 平時の活動(訓練)の取り組みを強化します。

事業名	陶っこ見守り隊(子ども見守り活動)
事業費	0 円
事業概要	(事業内容) 陶っこ協議会(青少協)を主体に、下校時の子供の見守り方法を、パトロールから毎週水曜日に定点での見守りに変更して実施しました。 (実施時期) 通年(夏休み、冬休み、春休みを除く) (参加人数) 460人 (成果) 地区内の多くの団体の協力が得られました。 (評価) 定点での見守り実施で、下校時の防犯と交通の安全が確保されました。 (今後に向けて) 児童の安全を守る為、今後も活動を継続します。

事業名	各種マナーアップの推進(マナーアップ)
事業費	0 円
事業概要	(事業内容) ペットの飼育マナーの飼い方を広報誌にて呼びかけました。 (実施時期) 適宜 (参加人数) (成果) 住民のマナーアップに貢献し意識が高まっています。 (評価) 派手さはないが地域の環境整備に貢献しています。 (今後に向けて) 広報誌を通じて地域住民に呼び掛けをします。

事業名	交通マナーアップ in SUE(交通安全、交通マナーアップ)
事業費	75, 535 円
事業概要	(事業内容) 小中新入生の交通安全を図るため警笛やベストを贈り、四季の交通安全期間中に啓発用の幟旗掲揚と、広報活動や立哨活動をしました。作業中交通安全幕を作成しました。 (実施時期) 4月、7月、9月、12～1月 (参加人数) 60人 (成果) 交通安全の意識が高まり交通安全が図られました。 (評価) 用具の贈呈、立哨活動、広報活動により安全啓発を充実させることが出来ました。 (今後に向けて) 引続き交通安全の啓発活動を充実させます。

事業名	反射鏡設置・修復(道路環境の整備)
事業費	50, 000 円
事業概要	(事業内容) 反射鏡 1か所設置 (実施時期) 29年7月 (参加人数) 業者依頼 (成果) (評価) 助成額の上限等、基準の見直しが必要。 (今後に向けて) 地区内の必要箇所を調査して、今後も道路環境の改善に努めます。

(5)環境づくり

事業名	土木工事:法定外公共物
事業費	3, 089, 000 円
事業概要	(実施内容) 法定外公共物の整備、里道の舗装工事(4路線)、農水路の整備(1件) (実施時期) 平成30年1月～3月 (参加人数) 業者に委託 (成果) 里道の舗装、農水路の整備が出来ました。 (評価) 里道の舗装と農水路の整備が行われ関係者に喜ばれています。 (今後に向けて) 引続き里道の舗装整備、農水路等の整備に努めます。

事業名	陶クリーン作戦(道路環境美化)
事業費	225, 857 円
事業概要	(事業内容) 地区内の国道、県道周辺や通学路の環境美化、中央公園の清掃を実施しました。 (実施時期) 7月、11月、2月 9月(中央公園) (参加人数) 650 人 (成果) 小・中学生から高齢者まで、全集落、地区内23団体が参加する陶の一大行事となりました。 (評価) 住民の参加意識も高く、環境美化が向上しました。 (今後に向けて) 運動会、ふれあいまつりと共に、陶地区民のふれ合いの場であり継続して行います。

(6) 地域個性創出

事業名	再発見「素晴らしい陶」
事業費	68,073 円
事業概要	(実施内容) 写真コンテストを実施しました。 (実施時期) 11月(ふれあいまつり)に展示 (参加人数) 15名 (成果) 地域の再発見、再認識につながっています。 (評価) 鑑賞された方々からは好評でした。 (今後に向けて) 引続き四季写真コンテストを行います。

事業名	陶ふるさと大学
事業費	34,182 円
事業概要	(実施内容) 地元の文化や歴史を学習する講座(視察)。遺跡発掘調査に関連する講座。 (実施時期) ①7月 ②8月(視察) ③11月 ④3月 (参加人数) ①45名 ②10名 ③25名 ④30名 (成果) ふるさと再発見、再評価につながる講座が開講できました。 (評価) 遺跡調査が始まり、関連講座が開かれ関心が高まっています。 (今後に向けて) ふるさと再発見に向けた取り組みを続けます。

事業名	地元文化育成
事業費	267,896 円
事業概要	(実施内容) 地元の音楽愛好家を軸とした手作り音楽祭を開催しました。 (実施時期) 平成29年11月 (参加人数) 1000名 (成果) 陶ふれあいまつりのプログラムの中に組み込みメインイベントとなりました。 (評価) プログラムの合間に組込み出演者、観客にも好評でした。 (今後に向けて) 身の丈に応じた手作り音楽祭を目指します。

事業名	文化財保護活動
事業費	2,885 円
事業概要	(実施内容) ①陶窯跡周辺の清掃、整備 (実施時期) ①平成29年11月 (参加人数) ①10名 (成果) 毎年実施することにより、以前に比べ草木の伸張が進まなくなってきました。 (評価) 周辺環境整備を進めてきて、建屋周辺と進入路の状況が随分改善されました。 (今後に向けて) もっと地区内外に陶のお宝を発信することが、これからの重点になると思われます。

事業名	青少年健全育成活動の推進
事業費	0 円
事業概要	(実施内容) 次代を担う青年層の「若者たちが考える陶」と題して座談会を開催した。 (実施時期) 平成30年2月 (参加人数) 16人 (成果) 若者の意見発表の場として少しずつ参加者が増えてきた。 (評価) 若者の発言を引き出せる場となりつつあるが、参加者の固定化が問題。 (今後に向けて) 若者の意見要望を「地域づくり計画」につなげたい。

事業名	コミュニティ・スクールの支援
事業費	50,000 円
事業概要	<p>(実施内容) 陶小学校コミュニティ・スクール活動を支援しました。</p> <p>(実施時期) 随時</p> <p>(参加人数)</p> <p>(成果) 地域の人材が教育活動、課外活動に講師役として携わった。</p> <p>(評価) 地域の連携もできつつあります。</p> <p>(今後に向けて) 陶小学校のコミュニティ・スクール活動の支援を続けます。</p>

(注) 事業概要の欄には、事業の目的、事業内容、実施時期、参加予定者数等の項目で概要を記載してください。